

頑張る浦工生

校訓：自律・協調・創造



令和4年 11月 校長便り
沖縄県立浦添工業高等学校長

地震・津波避難訓練の実施

11月2日(水)、地震の発生に伴って、津波を想定しての避難訓練を実施しました。

4校時に地震が発生、教頭先生から非常放送で生徒達への身の安全確保の指示がされました。その後、津波発生により河川増水のため高台への避難指示により、全校生徒・職員が「うちょうもう公園」までの避難訓練を予定していましたが、あいにくの雨模様で急遽体育館への避難訓練となりました。

生徒の皆さんは迅速な避難行動、安全確認がスムーズに出来ていました。災害時は自分自身の安全を確保した後に、周りの方々と助けるということを心がけることも大切です。

2011年の東日本大震災など生々しい記憶が残っています。過去に沖縄でも明和大海津波があり、先島では12000人程の命が失われたという歴史もあります。

空想ごとではありません。しかし、実際に体験できるわけでもなく、こうして訓練などを通じて考えてもらう機会をつくり、自分の命は自分で守ることを伝えていきたいと思えます。



美ら島文化祭アートでわかたけ、浦工が共同製作

10月23日に開催される「美ら島おきなわ文化祭2022」の開催に向けて、浦添市の社会就労センターわかたけの利用者と浦添工業高校のデザイン科の生徒達が垂れ幕を共同制作したことが琉球新報に載っていました。

(琉球新報記事より)

会場に飾られる長さ8m、幅1.25mの作品で、中心には花や大樹、海の生き物、エイサーなどわかたけの利用者が想像する沖縄の魅力や未来に残したいものが描かれ、浦添工業高校の生徒達は全体の構成と空いたスペースの彩りをサポートしました。障がいのある人もない人も垣根のない個性あふれた作品の仕上がりになっています。「うまい下手などなくそれぞれの絵と個性が混ざり合うことが楽しめる差作品をめざした」を生徒のコメントがありました。



PTA進路指導部開催セミナーの実施

11月11日(金)、PTA進路指導部が主催して、保護者・生徒を対象にしたセミナー「18歳成人に伴って生じる責任とリスク」が開催されました。講師の福井剛司さんに講演していただきました。

遅い時間からの開催となりましたが、24名(保護者、生徒)の参加がありました。

今年度から成人年齢が18歳に引き下げられました。高校3年生にとっては、18歳の誕生日がくると法律上は「成人」となります。未成年の人は法律で保護され(未成年者計契約の取り消し)していますが成人になると親の同意なしで様々な契約ができるようになります。つまりは自分の意思で契約し責任も伴ってきます。

クレジットカードについては、契約の前に必要性をよく考えること、周りの大人達にも相談し情報を収集することや自分の生活設計を考えてお金を計画的に使うことが大切だと話していました。

次に進学費用と奨学金についての説明がありました。高校を卒業後に大学・専門学校に進学する場合は、進学のための資金が必要となります。家庭の事情などにより、進学にお金が必要な学生が利用するのが「奨学金制度」です。奨学金には返済が必要ない「給付型」と返済義務のある「貸与型」があります。現在、国の機関、各市町村、民間団体等が行なっている奨学金がありますので詳しくは本校進路指導部まで相談して下さい。

「自転車鍵掛け甲子園」で優良校の表彰

11月23日(水)に「自転車鍵掛け甲子園」の表彰式がイオンモールライカムで行なわれ、本校が優良賞を受賞しました。

この「自転車鍵掛け甲子園」は沖縄県警察本部が「ちゅうらうちな一安全まちづくり推進会議」の一環として実施しているもので、児童・生徒の防犯意識の向上を図ることを目的に実施しています。自転車通学の認められている学校を対象に駐輪された自転車の施錠状況や防犯登録上状況等を警察が調査しました。その結果、本校はCブロック(自転車利用100台未満の学校)において、見事に優良賞を受賞しました。おめでとうございます。

自転車で鍵を掛けて盗難を防止し、自らの財産を守る意識はとても大切でそれは学校・地域の安全にもつながります。



浅野浦自治会のロゴマーク最優秀賞

11月27日(日)に、浦添市の浅野浦自治会「桜のまち浅野浦宣言」記念式典がありました。

今回、本校デザイン科3年の宮城 菜苗(3年)さんのロゴデザインが最優秀賞作品に選出され、表彰を受けました。また、優秀賞には瀬戸陽春花さん、仲井間憲仁(3年)さんが選出されています。

おめでとうございます。宮城さんは「将来の目標は社会に影響を与えられる作品を作れるイラストレーターになりたい、目標達成に一歩近づいた」とコメントしています。

(琉球新報記事より)



ロボット相撲全国大会で4位入賞。

11月26日(土)に「高校生ロボット相撲全国大会2022」が福島県で開催されました。本校から沖縄県代表として自立型相撲ロボット(BORDER)が参加しました。

9月に行われた県大会で準優勝した情報技術部の島田快青さん、山本滉大さん(3年)は全国大会に向けて、ロボットの性能のレベルアップに励んでいました。その結果、準決勝まで進み、優勝した大分県佐伯豊南高校に残念ながら敗れました。しかし、全国ベスト4入りを果たすことができました。おめでとうございます。

この実績を後輩に引き継いで全国制覇を目指してください。

- 1回戦:埼玉県立三郷工業技術高校
- 2回戦:三重県立四日市工業高校
- 3回戦:福岡工業大学附属城東高校
- 4回戦:大分県立佐伯豊南高校



同窓会からレジンの寄贈

浦添工業高校同窓会(上間保彦会長)から生徒の活躍を支援しようと、家具や工芸作品に使用するレジン(合成樹脂)52リットルがインテリア科に寄贈がありました。

上間会長からは「普段から後輩の育成に何かをしたいという声と同窓会にあります。実習費が限られる中、生徒達がるように使えないという話を聞きました。新しい技術を取り入れるきっかけになってほしいという思いで寄贈します」と話していました。生徒を代表して謝花拓杜さん(3年)は「レジンをしっかり活用して、制作を頑張っていきます。無駄のないように加工したい」とお礼の言葉がありました。

県内外の産業界等で活躍している浦工の先輩達が沢山います。同窓会の皆さんが母校の生徒達の応援をしてくることに感謝いたします。ありがとうございます。

(琉球新報、沖縄タイムス記事より)



12月の学校行事

日	学校行事等
3	創立40周年記念式典
5	振替休日
7	インターンシップ全体発表
14	デザイン科卒業作品展(浦添市美術館)
~	インテリア科卒業作品展
18	(県立美術館・博物館)
14	校内合唱コンクール
16	調理科学習発表会
21	芸術鑑賞会
22	情報技術科課題研究発表会
23	2学期終業式